



一般財団法人永頼会 SDGs宣言

当院は、「地域住民のため存在する」「高度急性期医療を目指す」「思いやりの医療をもって地域社会に貢献する」との経営理念のもと、事業活動を通じて「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に貢献し、地域課題の解決、および持続可能な社会の実現に努めてまいります。

2024年9月30日
一般財団法人永頼会
理事長 山本 祐司



重点項目(ターゲット2030)

患者さまに寄り添った医療の提供

急性期医療を担う地域支援病院として、最先端の医療技術や機器を駆使して、患者さまに寄り添った親身な医療を提供し、地域の皆さまから選ばれる病院を目指します。

【主な取り組み】

日本医療機能評価機関認定病院としての機能向上、かかりつけ医との連携、手術支援ロボットの活用、衛生管理の徹底



地域社会との連帯

地域の中核病院として、地域の皆さまに病気の予防や治療に関する知識を提供して、地域の医療水準の向上を支え、地域医療の持続的な発展に貢献します。

【主な取り組み】

地域医療連携室の設置、「出張・お出かけミーティング」の実施、看護部「公開研修会」の運営、緊急時の自治体連携強化



働きやすい職場づくり

職員一人ひとりのライフスタイルを尊重し、仕事と家庭の両立を図り、働きやすい職場づくりに取り組みます。また、未来を担う人材を育成し、職員の成長を応援します。

【主な取り組み】

柔軟な勤務体系の導入、福利厚生制度の充実、有給休暇の取得促進、院内研修の定期開催



環境への配慮

環境問題に配慮し、医療廃棄物の分別管理及び適正処分に取り組みます。また、職員の環境に対する意識を醸成し、身近でできる省エネ・省資源に努めます。

【主な取り組み】

廃棄物の分別管理、職員向け環境教育の実施、照明のLED化、文書のペーパーレス化



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」とは

- ・ 貧困、気候変動、人種・性差別、働き方などのさまざまな問題が顕在化する中、持続可能な社会をつくるために国連が定めた国際目標です。2030年までに解決すべき優先課題として、17の目標と169のターゲットが示されています。
- ・ 目標を達成するために、国連や政府だけでなく、企業やNPO、個人等が幅広く担い手として活躍するよう期待されています。
- ・ 企業がSDGsに取り組むことで、「気候変動をはじめ経営環境が変化していく中でも持続可能な組織である」と示すことにつながります。